

墨田区消防団運営委員会（第1回）次第

平成31年3月15日（金）
午前10時00分～午前11時30分
墨田区役所（7階）庁議室

開 会

1 委員長あいさつ

2 審 議

- (1) 特別区消防団運営委員会の答申を踏まえた対応方針について 資料1
- (2) 特別区消防団運営委員会への諮問事項について 資料2
- (3) 審議日程表（案） 資料3

3 その他

閉 会

特別区消防団運営委員会の答申を踏まえた対応方針について

1 諮問事項

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、消防団の活動能力を強化するための方策はいかにあるべきか（審議期間：2016年11月から2018年3月まで）

2 諮問の趣旨

近年、各地で地震・水災等の大規模な自然災害が発生しており、東京においても直下地震等による大きな被害の発生が予測される中、「地域密着力」「要員動員力」「即時対応力」を兼ね備えている消防団には大きな期待が寄せられている。

また、特別区消防団は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）の開催都市の消防団として大会の成功に向け、大会開催期間中の災害の未然防止と災害発生時における人的・物的被害を最小限にとどめるため、消防署隊と連携した警戒を実施する必要がある。

このことから、東京2020大会に向けて、消防団の活動能力を強化するための方策について諮問するものである。

3 答申及び対応方針

主な答申内容		対応方針	対応年度
活動体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 応援による警戒に伴い、消防団員の所属や身分の識別が必要 消防団の応援による警戒を実施するため、関係規程に消防団の管轄区域外の警戒の規定が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員証の更新等 特別区消防団の災害活動等に関する規程の改正 	<ul style="list-style-type: none"> 31年度以降更新予定 30年度以降改正予定
活動環境の充実	夏の暑い時季の警戒となるため、警戒員に対する熱中症予防対策が必要	・酷暑対策用被服の整備（活動用帽子、ポロシャツ、Tシャツ）	31年度整備予定
	警戒中に発生した火災に対する消火活動時の負担の軽減が必要	・50mmホース・ガンタイプノズルの試行	30～31年度試行実施
	夏の暑い時季に発生する、ゲリラ豪雨等による水災への対応が必要	・水害対策用資機材の整備（フローティングストレーナー・強力ライト・フロートロープ）	31年度整備予定
	発生した傷病者に対応するため、応急救護能力の向上が必要	・AEDの整備	30年度整備実施
広範な警戒範囲に対応するため、迅速で確実な消防団相互の情報共有が必要	アプリケーションを活用した情報共有の検証		31年度検証予定

主な答申内容		対応方針	対応年度
活動能力の向上	多数の来場が予想される外国人への対応能力の向上が必要	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションボードの整備 英会話講習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 31年度以降整備予定 30年度講習実施 31年度講習予定
	多数の来場が予想される聴覚障害者への対応能力の向上が必要	・手話講習の実施	<ul style="list-style-type: none"> 30年度講習実施 31年度講習予定
	警戒等に必要な教育を効果的に行うため、教育環境の向上が必要	・e-ラーニングシステムの活用による教育訓練の推進	30年度から施行実施
	警戒に必要な体力の維持向上が必要	・消防団応援の店へスポーツクラブの加入促進	31年度加入促進予定
消防団の活性化策	来場者等に対する消防団の広報のため、消防団のアピールが必要	・酷暑対策用被服に対する消防団マーク等の表示	31年度整備予定
	消防団の活動力を確保するため更なる入団促進が必要	・機能別消防団員の導入促進	30年度から導入促進実施
その他	東京2020大会の警戒により消防団の負担が増加することから、消防団の行事の整理が必要	・団点検・操法大会の実施方法の検討	30年度から検討実施

4 参考

資器材	諸元等
 <p>活動用帽子・Tシャツ・ポロシャツ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通気性や速乾性のある素材を採用し、着心地を向上 ・消防団マークやバックプリント等の表示による消防団の広報効果を期待
 <p>フローティングストレーナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・吸水量：最大1,500 /m ・水深2cmまで吸水可能 ・水面で浮かんだ状態で吸水し、水底に堆積物が多くても対応可能
 <p>強力ライト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出力（明るさ）：15W（900ルーメン） ・電源：充電式リチウムイオンバッテリー ・連続使用時間：2時間15分 ・防水性能：IP56
 <p>フロートロープ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロープサイズ：直径9mm×22m ・材質：ポリプロピレン製 ・水面に浮く機能を備え、足元が冠水した状態でも住民の避難誘導時に誘導ロープを見失うことがない。

特別区消防団運営委員会への諮問事項について

1 諮問事項

特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか（審議期間：2019年1月から2020年3月まで）

2 諮問の趣旨

近年、日本国内において地震や台風等様々な災害が起き、各地で甚大な被害が発生している。ここ東京においても首都直下地震の発生が危惧されているところであり、消防団は消火活動や救出救助等において正に地域防災力の要としての活躍が期待されています。

そのような中、特別区においては基本団員を中心とした消防団員の確保のため様々な募集広報活動を行っているものの、現在、消防団員は減少を続け地域防災力の低下が懸念されているところです。

また、消防団員の全国的な減少から、総務省消防庁は特定の活動、役割のみに参加する消防団員である「機能別団員」の制度導入を各自治体に要請してきたところであり、さらに2018年1月には「消防団員の確保方策等に関する検討会」の報告書により、大規模災害時に消防団活動を行う機能別団員の導入についても提案がなされたところです。

このことから、機能別団員の更なる拡充等、特別区消防団の組織力を強化するための方策について諮問を行うものです。

3 現状



任務・役割

- ・消火活動 ・警戒 ・防火防災訓練指導
- ・応急救護訓練指導 ・募集広報活動
- ・大規模災害（震災・水災）活動 など

位置づけ

- ・団本部
- ・分団

階級

- ・団長 ・副団長 ・分団長
- ・副分団長 ・部長 ・班長
- ・団員

処遇

- ・報酬 42,500 円/年（団員の場合）
- ・費用弁償 4,000 円/回
- ・退職報奨金 200,000 円（勤続年数 5 年以上 10 年未満で団員の場合）

基本団員

給貸与品

給与品

- ・冬帽 1 ・冬服 1 ・夏帽 1 夏服 1 ・活動服 2 ・活動服（薄型） 2
- ・兼用外とう 1 ・ネクタイ 1 ・ワイシャツ 1 ・バンド 1
- ・短靴 1 ・編み上げ活動靴 1 ・ゴム長靴 1 ・アポロキャップ 1

貸与品

- ・階級章 2 ・襟章 2 ・活動用雨外とう 1 ・防火帽 1
- 防火帽しころ 1 ・防火服 1 保安帽 1

4 方向性

機能別団員の更なる拡充

一昨年から消防団員確保のため、機能別団員の受入れをお願いしているところですが、進んでいない状況です。このことから、各消防団において機能別団員を受入れるために必要なことについて検討します。

機能別団員：全ての消防団活動を行う基本団員に対し、特定の任務や役割を行う消防団員

大規模災害団員のあり方

震災等大規模災害発生時の消防団の活動力の確保のため、消防団員を確保することが重要です。このことから、各消防団において大規模災害団員を受入れるために必要なことについて検討します。

大規模災害団員：震災等大規模災害時に消防団活動を行う消防団員

その他の組織力強化方策

組織力を強化するための消防署隊との連携方策について検討します。

5 検討事項



任務・役割

- どのような任務・役割の機能別団員が受け入れられるか？
- （例）・応急救護訓練指導を行う機能別団員
- ・大規模災害時に活動する大規模災害団員 など

位置づけ

- どこに配置するのか？
- （例）・団本部 ・分団など

機能別団員

処遇

報酬、費用弁償、退職報酬金は基本団員と同じでよいのか？（例）・基本団員と同じ・増額・減額・なし など

階級

階級は基本団員と同じでよいのか？（例）・基本団員と同じ・団員に固定 など

大規模災害団員

給貸与品

給貸与品は基本団員と同じでよいのか？（例）・基本団員と同じ・任務や役割に必要な給貸与品に限定 など

対象

- どのような人に担ってもらいたいのか？
- （例）消防団OB・東京消防庁OBや非常勤職員・区役所職員・女性・学生 など

その他

必要な資器材や訓練 など

7 大規模災害団員

種別	役割・任務	位置づけ	処遇	階級	給貸与品	対象	その他
大規模災害団員	大規模災害発生時 のみ活動を行う。	団本部配置	年額報酬なし 費用弁償を支給	班長、団員	給与品 活動服、アポロキャップ、兼用外とう、バンド、編み上げ活動靴、ゴム長靴、手袋 貸与品 階級章、襟章、活動用雨外とう、保安帽、防火服、防火帽、防火帽しころ	消防団OB、東京消防庁OB	震災訓練等の機会を活用し、年間1回以上の教育訓練を実施

8 その他の組織力強化方策（例）

組織力を強化するための消防署隊との連携方策について検討します。

消防署の方面訓練に消防団員が出向し、災害活動を見学することにより、消防団として活動できることのイメージを高める。
 指定された消防団員が、日中の間消防署において、署隊の活動（災害出場等）を体験することにより、消防団員としての活動能力を向上させる。

審議日程表（案）

開催回等	審議内容等
第1回 平成31年3月15日（金）	1 前回の答申内容の概要説明 2 今回の諮問及び趣旨の説明 3 審議方針の検討 4 今後の審議予定
第2回 平成31年7月中（調整中）	1 答申書（案）骨子の説明 2 答申書（案）骨子内容の検討
文書審議 平成31年10月中	1 答申書（案）の検討（文書郵便または配送） 2 各委員の意見等の取りまとめ（文書化）
第3回 平成32年2月中（調整中）	1 答申書（案）の最終審議 2 答申書の決定